



東日本大震災復興支援チャリティーヨットレース

第14回

横浜ベイサイドマリーナオープンヨットレース

【帆 走 指 示 書】

横浜ベイサイドマリーナオープンヨットレース実行委員会 事務局

〒236-0007 横浜市金沢区白帆6番地 横浜ベイサイドマリーナ内

TEL 045-776-7594 FAX 045-776-7596

14th Yokohama Bay Side Marina Open Yacht Race

第14回横浜ベイサイドマリーナオープンヨットレース



【帆走指示書】

1. 適用規則

本レースは下記規則を適用する。

- ① セーリング競技規則2009-2012(RRS)に定義された規則
- ② IRCクラスは、IRC規則2011、パート1, 2, 3
- ③ 本レースは「カテゴリーA」の大会とする。

2. 競技者への通告

競技者への通告は、大会本部(横浜ベイサイドマリーナセンターハウス)前に設置される公式掲示板に掲示される。

3. 帆走指示書の変更

艇長会議以降の帆走指示書の変更は、公式掲示板にスタート予定時刻の2時間前までに掲示する。

4. 出艇申告、帰着申告、変更・棄権等

- ① 出艇申告は艇長会議の出席をもって出艇申告とする
- ② IRCクラスは、フィニッシュ後「クラス旗」を大会本部に返却したことをもって帰着申告とする。
- ③ オープンクラスは、フィニッシュ後「クラス旗」と「ペナントナンバー」を合わせて大会本部に返却したことをもって帰着申告とする。
- ④ 艇長会議以降にレース不参加の場合は、電話にて大会本部へ必ず通知しなければならない。
また、レース海面にてレースを途中棄権する場合は、必ず最寄の運営船にその旨を通知し、帰港後は速やかに大会本部へも通知しなければならない。
- ⑤ 競技者(乗員)の変更は10月22日(土)午前8時00分より9時00分まで大会本部で受け付ける。

5. 陸上信号

- ①陸上信号は、大会本部前のフラッグポールに掲げられる。
- ②レース当日の天候等の状況によって、レースが延期及び中止される場合も陸上本部前のフラッグポールに指示される。
- ③AP旗が掲げられた場合は、「スタートは延期された。予告信号はAP旗下降後60分以降に発せられる」ことを意味する。
- ④横浜ベイサイドマリーナ以外から出港の競技艇は、大会本部に電話確認することを推奨する。

6. レースの予定

2011年10月22日(土)

11:00	IRCクラス スタート(予告信号の予定時刻10:55)
11:10	オープンクラスA スタート(予告信号の予定時刻11:05)
11:15	オープンクラスB スタート(予告信号の予定時刻11:10)
15:30	全クラス タイムリミット
17:00~19:00	表彰式及びパーティー(会場:マーレクッチーナ)

7. レース艇の識別

参加艇は「クラス旗」を掲示しなければならない。オープンクラスについては、レース委員会が横浜ベイサイドマリーナオープンヨットレースレーティングに基づき、参加艇をおおよそ半数に分けA・Bの2クラスを設ける。クラス分けは、艇長会議時に掲示する。

- IRCクラス……………ホワイト旗
- オープンクラスA……………ピンク旗
- オープンクラスB……………イエロー旗

- ①それぞれのクラスの「クラス旗」とオープンクラスの個艇識別用の「ペナントナンバー」は、10月15日(土)の艇長会議時に配布する。
- ②競技艇は決められた「クラス旗」を、バックステイのデッキ面より1.5m以上上方の目立つ位置に掲げなければならない。
- ③オープンクラス艇は「ペナントナンバー」をマストより前のライフラインに沿って、スターボードサイド、ポートサイドの両側にはっきり識別できるよう取付けなければならない。これを怠った場合は失格となる場合もある。
- ④「クラス旗」およびオープンクラスは「ペナントナンバー」を合わせて、レース終了後1時間以内に大会本部に返却しなければならない。これを怠った場合は失格となる場合もある。尚、外来艇で直接帰港するなどの場合には、必ず陸上本部に返却方法を伝えなければならない。
- ⑤「クラス旗」紛失の場合は500円、「ペナントナンバー」紛失の場合は1枚6,000円をレース委員会に支払うこと。

8. レースエリア(別紙参照)

横浜ベイサイドマリーナ沖から八景島沖にかけての水域

9. レースコース(別紙参照)

①IRCクラスコース

スタート → マーク1 → マーク2 → マーク3 → マーク1 → マーク3
→ マーク1 → マーク3 → 黄色の円柱形に赤帯マーク(フィニッシュ)

②オープンクラス(A・B)コース

スタート → マーク1 → マーク2 → マーク3 → マーク1 → マーク3
→ マーク1の先にある運営船(フィニッシュ)

③マーク1・2・3は全クラス共用とし、ポートサイドに見て回航する。

④最初のスタート予告信号前に、本部船後部にて、マーク1へのおおよその距離とコンパス方位を掲示する。

10. マーク

①マークはオレンジ色の三角すい(幅:約1.2m、高さ:約1.2m)のインフレーター式のものを使用する。

②マークにはそれぞれ1~3の番号が表記されている。

* スタートマーク及び別途設置されるフィニッシュマークを除く。

11. スタート

①スタート方法は、RRS26に従って行う。

②予告信号旗

●IRCクラス……………ホワイトYBM旗

●オープンクラスA……………ピンクYBM旗

●オープンクラスB……………イエローYBM旗

③スタートラインは、本部船のオレンジ旗を掲載したポールと黄色ブイの間とし、適用するコースの最初のマークに対して、おおよそ直角に設定される。

④各クラスのスタート信号後、IRCクラスは5分以内、オープンクラスは10分以内にスタートしなければならない。これに従わなかった艇はDNSとする。

これはRRSA4を変更するものである。

12. リコール

リコールについては、第3章RRS29に従って行われる。また、いずれかのクラスのスタートがゼネラルリコールとなった場合、以降のクラススタートは、本帆走指示書(6.レースの予定)における時間差を継続して順次繰り下げて行われる。

13. 運営船

全ての運営船には大会旗が掲げられる。

14. スタート後のコース短縮

スタート後のコースの短縮は、RRS32に従って行われる。

※スタート後にコースの短縮を行った場合、運営船のS旗を掲揚したポールと最寄りの回航マークとの間をフィニッシュラインとする。尚、クラス別の場合は当該クラスのクラス旗を揚げる。

15. スタート後のコース変更

スタート後のコース変更は行わない。

16. フィニッシュ

①IRCクラスのフィニッシュは、本部船(左舷に見る)のブルー旗を掲揚したポールと、マーク3からマーク1への延長線上の近くに設置された赤帯マーク(右舷に見る)との間とする。

②オープンクラスのフィニッシュは、本部船(右舷に見る)のブルー旗を掲揚したポールと、運営船(左舷に見る)のオープンクラスのカラー旗を掲揚したポールとの間とする。

17. 失格に代わる罰則

レース中、RRS第2章の規則に違反した可能性のある艇は、RRS44. 2の2回転のペナルティを履行することにより失格を免れる。

18. タイムリミット

タイムリミットは、全クラス15時30分とする。15時30分までにフィニッシュしなかった艇はDNFとして記録される。これはRRS35を変更するものである。

19. 抗議

①抗議はレース本部にある抗議書に記入し、各クラスのレース終了後60分以内にレース本部に提出しなければならない。

②抗議は、ほぼ受け付け順に審問される。

③抗議に関する通告は、審問の場所、時刻及び抗議の関係者を知らせるために、抗議締め切り後30分以内に公式掲示板に掲示する。

④抗議の判決は、本レースにおけるプロテスト委員会の判決をもって最終とし、審問の再開は行わない。

20. レースの成立

各クラスにおいて、1艇以上の正規フィニッシュ艇をもって成立とする。

21. 順位、賞

- ①順位について、IRCクラスは、TCCに所有時間を掛けた修正時間に基づいて算出される。
- ②順位について、オープンクラスは横浜ベイサイドマリーナオープンヨットレースレーティングに基づいて算出される。
- ③算出された修正値が同じ場合、レーディング値の小さい方を上位とする。
- ④賞は、公示に示すとおり、各クラス1位、2位、3位、とび賞など多数を用意する。

22. 特別規定

本大会は下記の特別規定を設ける

- ①海上では競技者はライフジャケットの着用を義務付ける。
- ②競技者は、レース中を問わず出港から帰港までの間、ゴミ、タバコの吸殻などを海上に投棄してはならない。
- ③レースエリアは運営船によって監視され、競技艇は一般船舶の航行による進路変更等の指示を受けた場合、速やかに従わなければならない。
- ④本船航路内へは絶対進入しないこと。
- ⑤競技者は、レースエリアへの行き来およびレース中を含め、他船舶等への見張りには十分

に注意を払い、事故の無いように気を付けなければならない。レースエリア付近で十分に注意するポイントは下記の通りである。

- 八景島沖生簀、福浦岸壁よりの海苔網、穴子の筒漁や蛸壺漁のボンデンなど
- 根岸湾および八景島に出入りする船舶や漁労中の漁船・遊覧船など

★大会本部(陸上)

横浜ベイサイドマリーナ(株)センターハウス内

電話 045-776-7599 FAX 045-776-7591

(レース当日の7時30分より開設)

★本部船(海上)

携帯電話 080-2040-3492 (フロンティア号:田中)

※本部艇電話は運営で使用される為、非常時以外は使用しないでください。